



好きやねん湖東

第13号

廃食油・救援衣料の回収

みなさんのご協力に感謝します！！



積み込み作業をする商工会青年部

集まった廃食油は、精製されてバイオディーゼル燃料となり、今年の「コトナリエ」を点灯させます。



集められた救援衣料は、アジアやアフリカなどの国々へ送られます。



6月25日 救援衣料回収



6月18日 廃食油回収

この人を紹介

これからもずっと 味かせてください

今回は、東近江市の「花と緑の推進賞」を受賞された、野村よしゑさん（南花沢町在住）のお宅を訪問しました。

「官庁通りに面した花壇を一年中、花を絶やさないように」と、丹精こめて世話をされている、よしゑさんは、大正8年7月13日生まれで、今年 米寿を迎えられます。

そんなよしゑさんの毎日は、午前中は家業の縫製工場でミシン仕事を手伝い、午後からは畑仕事に精を出されています。

趣味をお尋ねしたところ、「花作り」と「カラオケ」ということですが、その趣味の歌も、生きがい教室の「民謡・カラオケ」が始まって以来の生徒ということですから、約20年間も歌い続けていらっしやることとなります。

健康の秘訣は「やりたいことを、自分の好きなようにやること」だそうです。

また、「広い花壇ですから、種代もかなりかかるので、種をとっては蒔くようにしています」と笑顔で話してくださいました。

推進賞の個人受賞は、東近江市ではお二人だけだそうです。

本当におめでとうございました。（福田）



野村 よしゑ さん



コトナリエ情報

コトナリエ 準備中

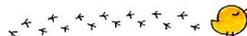
7月1、2日の両日、実行委員会のスタッフはもちろん、ボランティアの皆さんもご参加いただき、イルミネーションの飾り付け作業がひばり公園で始まりま

した。商工会の皆さんは、飾り付けの下地作りから、まち協やボランティアさんは、電球の点検作業から始めまし

た。あるボランティアの女性の方は、「昨年のコトナリエは、とっても感激しました。今年は少しでもお手伝いさせていたきたいと思い参加しました」とのことでした。ありがとうございます。

皆さんの暖かい言葉とご協力で、コトナリエは今年も、より一層輝いていくことでしょう。

今年のコトナリエは、8月5日（土）から15日（火）まで 毎夜 ひばり公園で点灯されます。



地域だより

活躍期待される スクールガード

6月14日（水）湖東第三小学校で、第1回スクールガード講習会がおこなわれました。

講師の滋賀県スクールガードリーダー 木津 勝先生のお話の中で、不審者の3つの嫌がること

- ① 住民の視線（午後3時～4時の間は、一人でも多くの視線を）
- ② 大きな音（子どもたちは、危険な場面に出会った時は、キャー「ふざけている声に聞こえるので」と言う声より、ウォーと叫ぼう）
- ③ 明るい場所（防犯灯の設置）

この3つを家族ぐるみ、地域ぐるみで取り組んでいくことが、不審者対策の一つであると話されていました。

参加された約40名のPTAの皆さんは、この話を子どもたち、地域に伝えようと熱心にメモをとられていました。

なお、6月現在のスクールガードは、第一小学校32名、第二小学校32名、第三小学校27名（うち3名が地域の方）が活動されています。（青西、福田）

< スクールガードとは >

全国各地で多発する不審者による、通学路や学校敷地内における児童殺傷事件を受けて、学校安全ボランティアとして養成した方々で、主として不審者から児童を守る見地から、巡回・警備を実施することにより、児童の登下校時の通学路の安全および校内での安全確保にあたってもらいます。

今回は、先日のヘムスロイド村まつりにバザーを出店していた「フォルザG」の皆さんを訪ねてみました。

若さあふれるパワー全開の「フォルザG」ですが、フォルザというのはイタリア語でがんばれ！を意味するもので、Gは祇園の頭文字を取り、「がんばれ！祇園」という意味でネーミングされたそうです。

その名のとおり、頑張っている皆さんにお話を伺いました。

Q：ヘムスロイドのバザーの中で1番若い団体でしたが、出店を始めたきっかけは？

A：活動のひとつとして、毎冬イルミネーションを地元の公園に飾っていますが、その資金を集めるために出店したことがきっかけです。

Q：今、若い衆ばなれ、また活動を負担とする若い人たちが多くに聞きますが、そのように感じる人たちに、一言、お話をください。

A：まず自分達が楽しむことが大切ではないでしょうか。そして、みんなにも楽しんでもらえる
また、真剣に何かをやるかっこ悪さはあるかもしれませんが、真剣に何かをやった時の満足感は最高ですよ。

Q：皆さんが元気な祇園をささえておられるように思います。「フォルザG」の今後の思いをお聞かせ下さい。

A：若いリーダー（28才）を頭に、色々な人が集まれるのが「フォルザG」です。祇園に誇りをもって頑張っています。
将来的にはG（若い衆）I（老人）O（婦人）N（中年）と、全部あわせてフォルザG・I・O・N（ぎおん）が
つくれることを目標に、祇園に魅力を感じて【祇園いいやん!】と思ってもらえる活動をしていきたいです。
これからの活躍が、益々期待できそうな仲間たちでした。（高野）



楽しいこと見つけた

湖東のお宝②

私にもできそう ペンダント!

6月24日（土）の彫銀教室（さざんか学習講座）を見学に行きました。

その日の教室では、自分の好きなデザインでペンダントトップを製作されました。



皆さんの手元を見ますと、雑談もできそうにない繊細な作業ですが、楽しんで作業をされていました。

今年で4年目の教室ですが、ずっと継続して来ておられる方もいらっしゃるのとこと、かなり人気がある教室のようです。

講師のヘムスロイド村工房「Trolli」の吉岡まさよさんによると「彫銀の魅力は、材料となる銀は色合いが良く、そして加工がしやすいので、手軽にものづくりができる点」だそうです。

さて、私も何か作ってみますか！（板倉）



近江商人郷土館

彦根藩からの拝領品

小田町にある近江商人郷土館は、近江商人として財をなした小林今右衛門家「丁吟」の老家です。

丁吟は、京都や江戸で呉服卸業と金融業を営み、五個荘や八幡の豪商と肩を並べていましたが、彦根藩御用達の有力商人として、献金をしたり、資金を貸し付けたりするなど藩の財政に大きくかかわっていました。

井伊直弼が藩主として領内を巡視した時には、小田町の本宅に座敷を新築し本陣として提供しています。

直弼公が大老になってからも、資金面の援助を続けますが、桜田門外の変の時には、彦根藩よりも丁吟の情報が早く本宅や京都店に伝えられたといわれています。

このような丁吟の貢献に対して、井伊家からは感謝のしるしとして貴重な品々が下賜され、その多くが近江商人郷土館に展示されています。

《特別展「近江商人と彦根藩」は11月30日まで》



写真は拝領品の一つ、近江八景の蒔絵の硯箱

スポーツ大好き -テニス編-

今回は、硬式テニススポーツ少年団をレポートします。

(ぼ〜ん、ぼ〜ん)、いやあ、みんな、すごい！いい音、出してる！

「ビーンズテニスクラブ」は、今年から、スポーツ少年団として登録されたクラブです。

同好会としての5年間は、民間のコートで活動してきましたが、コートへの借り上げ費用が掛かることから、十分な練習時間を子どもたちにとってあげることが難しかったそうです。

そこで、お金を掛けずに、子どもたちに、もっとテニスを教えてあげたい、知っていることを教えてあげたいとの思いから、今年、スポーツ少年団として正式に申請し認められたものです。

現在、メンバーは、小学生以下の22名とコーチ5人です。練習メニューは、体操、ランニングから始まり、基本練習、そして試合形式の練習へと進んでいきます。

星野コーチにお話をお聞きしましたところ、「テニスを通じて、協調性を覚えさせたい。個人の能力を伸ばしてあげながら、併せて団体でのルールをしっかり身につけることが大切です」と熱心に話して下さいました。

また、小嶋コーチは、「テニスだけをするのではなく、使用する場所を掃除することにより、公共のものを大切にすることも育てたい」とも話して下さいました。

取材を終え、私も久しぶりにテニスをしたくなりましたが、さて？ラケットどこへ片づけたかな？(西澤)



コナリエ実行委員長 青山 孝司 さんに聞く

まつりが近づくにつれて、責任の重大さを痛感しています。

毎年この時期に開催される「夏まつり」は、子どもの頃からの楽しみでした。中学卒業後は、別の高校に進学した友人に再会できる場でした。大人になってからは、都会から帰ってきた友人や家族と出会えた素晴らしいイベントでした。

こうした素晴らしいまつりであるコナリエを子どもや孫の代まで続けていきたいと思えます。

今年の コナリエ の見どころは？

今年の見どころは、滋賀県立大学の学生グループ「アカリヤ」がプロデュースしたイルミネーションのデザインです。テーマは「光を使って自然を感じる」です。会場を6ゾーンに分け、それぞれに湖東地域の特色を若い感性で織りこんだ、今までにないデザインです。

22万球の電球を使用し、展示ゾーンの拡大も考えています。会場に来られた皆さんには「安らぎと満足」を実感していただけるものと期待しています。

また、今年は廃食油からできるバイオディーゼル燃料を利用した発電機を使用し、消費電力が少ないLED(発光ダイオード)も増やし、環境にも気配りしました。

昨年以上の幻想的な異空間が、皆様のご来場をお待ちしています。



**コナリエ
サマーフェスタ 2006
8月5日(土)
~15日(火)
19:00~21:30 点灯
ひびき公園**

<編集・発行>

湖東地区まちづくり協議会

(事務局)

〒527-0113 東近江市池庄町 505 番地

東近江市 湖東支所 地域振興課内

TEL 45-3702 FAX 45-1570

E-mail : k-machikyo@koto-ken.jp



編集後記

この号が、皆さんの手元に届く頃には、梅雨も明け、夏本番といったところでしょう。

家族と旅行をする方、友達とキャンプを計画している方、皆さん！、夏休みの思い出をいっっぱい作って下さいね。

